

同種造血幹細胞移植を受ける患者さんへ（入院～前処置）

患者氏名

主治医:

受け持ち看護師:

| 項目 | 月日 | 入院 | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | 移植前 | ～ | |
|--------------------------------|----|---|---|-----|---|--|-----|-----|-----|-----|-----|---|
| | | | -14日 | -9日 | -8日 | -7日 | -6日 | -5日 | -4日 | -3日 | -2日 | -1日 |
| 達成目標 | | <ul style="list-style-type: none"> 骨髄移植の説明を受け必要物品や気持ちの準備ができる 不安苦痛が最小限で落ち着いて過ごすことができる 感染予防行動を理解し実践できる | | | | <ul style="list-style-type: none"> 感染予防ができる 症状を医療者に伝えることができ、副作用の対処ができる 苦痛や不安をいつでも言える | | | | | | |
| 治療・薬剤 (点滴・内服) 処置 リハビリ | | <ul style="list-style-type: none"> 中心静脈カテーテル(点滴の管)を首の部分から入れます 管からの感染を防ぐために看護師が毎日観察し、1週間に1回消毒をします | <ul style="list-style-type: none"> 抗菌薬の点滴が始まります 点滴の管は床につかないように注意しましょう | | | <ul style="list-style-type: none"> 前処置が始まります 抗がん薬を投与する前に吐き気止めを点滴します | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 朝6時から免疫抑制剤の持続点滴が始まります |
| 検査 | | <ul style="list-style-type: none"> 入院時検査:血液検査、尿検査、便検査、痰培養、レントゲン検査、※血液検査は状態に応じて繰り返し行います 他科受診:歯科口腔外科、麻酔科、整形外科(リハビリテーション) ※全身放射線照射を行う場合は、放射線科受診と型合わせがあります 入院以降は、適宜、採血やレントゲン検査をおこないます | | | <ul style="list-style-type: none"> 肺炎予防薬など新たに飲み薬が始まります | <ul style="list-style-type: none"> 吐き気止めを3日間飲みます | | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 医師の指示で、適宜、採血やレントゲン検査をおこないます |
| 活動・安静度 | | <ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません | | | | <ul style="list-style-type: none"> クリーンユニットに入室します 活動は原則病室内のみとなります | | | | | | |
| 食事 | | <ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません | | | | <ul style="list-style-type: none"> 移植食になります お茶は配られません ペットボトル等の飲み物は、開封後1日で破棄しましょう 紙コップにうつしてお飲み下さい コンビニ弁当や自宅で作った持ち込みは食べられません | | | | | |  |
| 清潔 | | <ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません うがいを毎日5～6回します 食事前、トイレの後、検査の後には手洗いをします 保湿剤を1日2回以上塗り皮膚を保護しましょう | | | | <ul style="list-style-type: none"> シャワー浴が可能です ※体がきつい時には体拭きや洗髪をお手伝いします うがいを毎日5～6回します 食事前、トイレの後、検査の後には手洗いをします | | | | | |  |
| 排泄 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> 朝食前と夕食前に体重を測り、看護師にお知らせ下さい 目標体重()Kg以上の時には利尿剤を点滴で投与します 排便後はウォシュレットを使いましょう 尿量を測定します(方法は看護師が説明します) 6時間おき(5時・11時・17時・23時)に尿量を確認し、少ない場合には利尿剤という薬をつかいます | | | | | | |  |
| 患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導 | | <ul style="list-style-type: none"> 看護師がパンフレットで副作用症状や対処の方法、日常生活指導をします(お渡しするパンフレット) □造血幹細胞移植を受ける方へ □化学療法を受ける方へ □治療中の食事について □GVHDについて □リハビリテーションについて □転倒・転落について ・薬剤師が抗がん薬や副作用予防薬の説明をします ・必要物品を一緒に確認しながら準備します ・ご希望されれば栄養士からの栄養相談が受けられます ・わからないことやご希望があればご相談下さい | | | | <ul style="list-style-type: none"> クリーンユニット入室後は、ご家族の面会は可能ですが、1度の面会で大人2人までとなります(前室までです) ・口内炎の早期発見のため、口の中の観察を毎日行いましょう(治療期間中は歯科衛生士が歯磨き指導やケアを行います) ・必要時や希望時には皮膚ケアの専門家からケアの指導を受けます ・週に1回、栄養士が訪問します 食事についての相談を受けられます その他ご要望があれば栄養士との面談を調整します | | | | | |  |

注:イラストはMPCのイラスト集より転載

この経過表は治療期間中のおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りに行かない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院